

まち&街

NPOニュース No.10
2023年2月



発行: NPO法人 鹿島田・新川崎まちづくりの会

理事長: 大野彰 連絡先: 佐藤好行 080-1225-6411

3/11 まちづくり文化行事と講演会

人間の顔をしたまち

--- 人と地域をつなぐ南武線に ---

日時: 3月11日(土)午後2時~4時

場所: 新川崎・鹿島田駅周辺整備事務所

参加費: 500円(当日受付、高校生以下は無料)

内容: ①腹話術ゴローちゃん&しろたにまもる

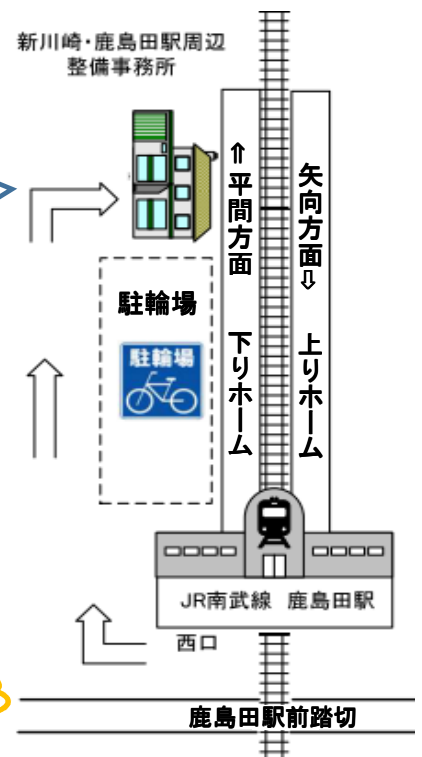
②南武線開かずの踏切解消、報告と意見交流

③まちづくり講演会「人間の顔をしたまち」

講師: しろたにまもる氏 (幸区在住)

日本腹話術普及協会理事長、川崎文化会議議長

--- 2022年度かわさき市民公益活動助成金事業 ---



日本歯科新聞社 成願杏里さん撮影

ゴローちゃん ♥ しろたに まもる

お子さんも楽しめます

ゴローちゃん、どんなお話し?

あいさつ、やさしさ、愛のあるまち

笑って笑ってイキイキとしたまちの暮らし

開かずの踏切って何?

しろたにまもる氏 プロフィール

日本で数少ないプロの腹話術師

上演回数日本一 (4,600回以上)

京浜協同劇団など地域劇団の振興に寄与

2022年度日本舞台芸術家組合賞受賞

2014年川崎市文化賞受賞



共同のまちづくり

みんなの願い、声を大切にして

安心してすごせる街をつくりたい！

その1 交通アクセス改善陳情書提出！

1. 減便した臨港バス川60・川61系統を川崎市で増便すること
2. 鹿島田、新川崎の駅前でタクシーが利用できるように改善すること

コロナ禍を理由に1日26便あったバスがたった1便になって地域の人たちは困っています。712名の署名を添えた陳情書を12月15日に川崎市議会議長あてに提出しました。今後、まちづくり委員会で審議されることとなります。

その2 臨港バス交通労働組合と意見交換

大幅減便となった臨港バスを運行するバス運転手さんの意見を伺おうと川崎区塩浜の労組事務所を訪問しました。鹿島田踏切では20～30分普通に待たされる、コロナ前と比べると乗客は20～30%減で戻っていないという実態を伺いました。病院循環バスやコンパクトなコースを走るコミュニティバスなど意見交換しました。



その3 JR東日本に要請^{10/11}

開かずの踏切解消、鹿島田の踏切歩道拡幅などを求めてJR東日本を訪問し「事故が起きる前に改善を」と要請しました。「歩道拡幅や新川崎駅のベンチ設置は川崎市から要請があれば検討する」との答えでした。



街のつづき

停年退職してから3年になる。町内会活動をしたり、市民運動にかかわったりしていると色々な事がおこるが、市役所・区役所の対応が変だと思うこの頃だ。息子が孫をつれて実家に帰ってくるのはとっても嬉しいが、公園が近くに無く2丁目公園まで行くことになるが、一番困るのはトイレが無い所。あわてて新川崎駅まで走るしかない。知り合いの家が近くにあってもトイレは気がひけるのだ。トイレの無い公園が鹿島田にはあるのだ。鹿島田在住 立石秀雄